

自ら学び 自ら拓く

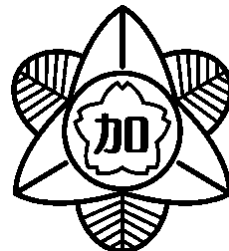
学習の手引き

「学びの基本」と

「家庭学習(自学自習)」



海南省立大東小学校
大東小学校学校運営協議会



海南省立加茂川小学校
加茂川小学校学校運営協議会



海南省立下津第二中学校
下津第二中学校学校運営協議会

はじめに

「すすんで学ぶ子どもをそだてるために」

近年、多様性への理解の深まりや、スマートフォンやインターネットの急激な普及、ビッグデータや人工知能（AI）の活用などによる技術革新が進んでいます。10年前では考えられなかったような激しい変化が社会に巻き込まれています。EXPO2025 大阪・関西万博で見られたような目新しい技術が、近い将来の社会や生活を大きく変えていくと予測されています。

ここ数年の世界情勢や日本国内を見ても、新型コロナウイルスによる感染症の流行、戦争をはじめの世界情勢の変化、異常気象、日本政治の不安定化、外国人旅行客にインバウンド等は、社会生活のみならず学校生活にも大きな影響を与えました。

学校現場では、対話的な学習の推進、GIGA スクール構想による1人1台のタブレットPCの貸与、授業におけるICTを活用した学習指導の工夫が求められています。中学校教育の“技術家庭科”には技術分野での“プログラミング学習”の導入（一部小学校でも導入）、社会科や家庭分野での「消費者教育」の学習が始まり、高等学校教育においては“情報”教科の新設、「金融教育」の導入など大きな変化があります。

このように社会の変化が激しく、未来の予測が困難な時代の中で、子どもたちには変化を前向きに受け止め、社会や人生を人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしていくことが期待されています。そのために、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や自分の人生を切り拓いていく力がますます求められます。

全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究によると、「学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。」「自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。」「テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。」「子どもに本や新聞を読むようにすすめている。」など、保護者のはたらきかけがある子どもは正答率が高いという傾向があります。

学校で学んだことを日常生活で活用したり、家庭や地域での経験を学校生活に生かしたりすることはとても大切です。そのためには、学校だけではなく、家庭や地域の皆様のご理解・ご協力が欠かせません。ご家庭の皆様は子どもたちが学校で学んでいることに関して、是非、子どもたちと話したり、一緒に考えたりしてみてください。たとえば、学んでいることに興味をもって見ていただき、「なぜそうなるのか理由を説明してみて」、「自分ならどう説明するかな」などと一緒に考えることを楽しんでください。そして、「考える”って楽しいね」などと感想を言葉にしていだければと思います。また、子どもたちがすすんで学ぶようになるには、「早寝・早起き・朝ごはん」「家庭学習」「あいさつ」などの基本的な生活習慣の確立が大切であり、家庭でのアドバイスや御協力等が重要で不可欠であると考えています。子どもの教育は家庭から始まり、子どもたちは家族との温かい関わりや体験を通して多くのことを学び、たくましく成長します。

「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、家庭での関わり方によって、その育ち方は大きく変わると考えられます。

家庭で



- 生活のリズムを整える。
- 学習に集中できる環境をつくる。
- 認め、励まし、対話のある温かいふれあいを。

子どもたちの「すすんで学ぶ力」 「健康な心身」

家庭と学校とが協力し合って
子どもの「学ぶ力」を育てましょう。

学校で



- 基礎学力をつける。
- 学び方を学ぶ。
- 発達の段階を考慮した家庭学習(自学自習)の提案を。

この冊子の説明と使い方

学習で大切なのは、毎日、少しでもいいので、読んだり、書いたりしていただくことです。それが、どうして大切なのでしょう？ 大きな理由が2つあります。

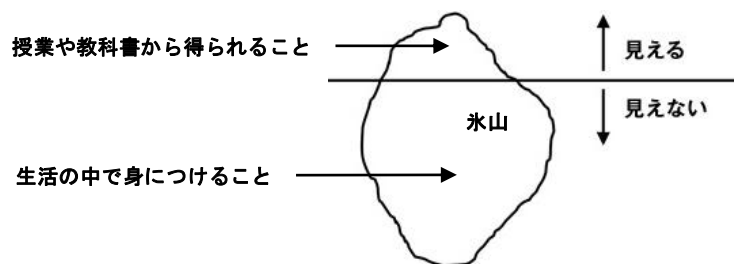
1つは、基本的な力（たとえば、漢字の読み書きや足し算・引き算）は、繰り返し学習しないと「身につかない」。そして、「身につけて」しまわないと、先に進めないからです。基本的な力は、「毎日繰り返す」ことで、いつのまにか「身につけて」くるのです。スポーツだって、そうです。型や作法というのはとても大切です。とにかく、まねてみる、やってみるということです。でも、いつまでも基本だけをやってはおもしろくありませんし、上達もしません。学校では、基本以外のこと、例えばじっくり考えたり、調べたり、意見を聞いたり、話し合ったり、発表したりする活動をしています。また、基本練習問題以外の宿題も出たりします。ただ、基本は大切ですので、家での繰り返し学習も続けてください。

もう1つは、毎日、少しでも学習することで、それが「普通のこと」になること、家での学習が、「習慣」になるということです。自分で“勉強する”という習慣は、「計画を立てたり」、「見通しを持って行動したり」、などのとても大切な力をつけることにつながります。この力は、自分の時間や行動を自分で決めていく力であり、社会でたくましく生きていくための基礎となる力です。

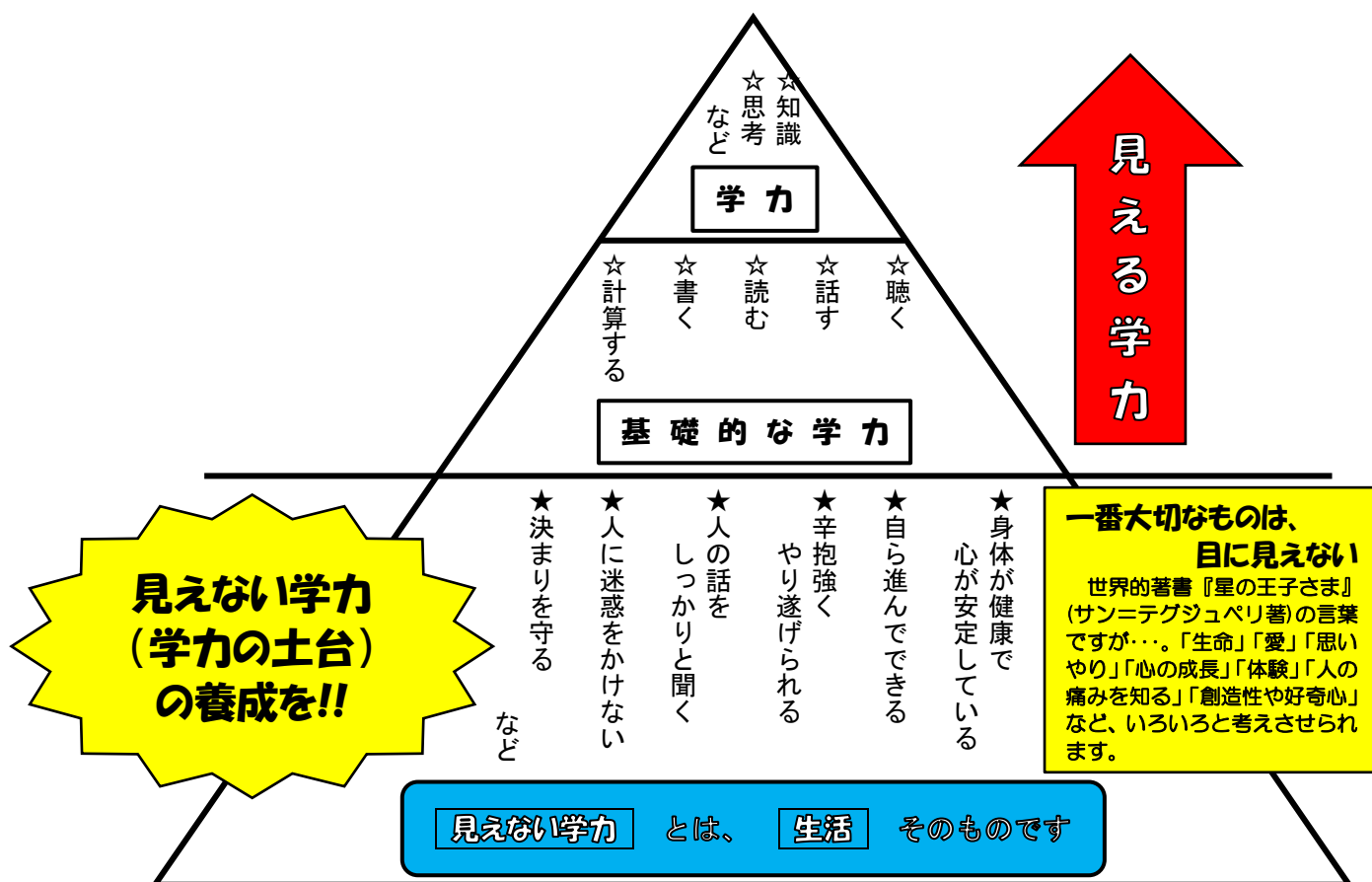
この冊子には、学習習慣を身につけるためのヒントとなること書いてあります。どこから、どのように読んでもかまいません。下級生は保護者の方と一緒に読んでいただけるよう、上級生は自分で読んで理解できるように作成しています。もちろん、ここに書いてあることだけが、学校での学習や家庭学習（自学自習）のやり方のすべてではありません。あくまでも、ヒントです。家族の人や学校の先生とも相談しながら、皆さん自身のやり方をつくっていきましょう。

見えない学力(学力の土台)の養成を!!

学校生活の中心は“学習”です。学習したことを身につけていくというのは、授業や教科書から得られるものだけではありません。生活の中でいろいろなことを学び、身につけていることと、学校の授業や教科書での学習がより深まり、より確かなものになります。それは、氷山と同じようなものです。



そこで、日頃から新聞やニュースをしっかりと見たり、いろいろなジャンルの本を読んだり、様々な所に出かけたり参加したりして、氷山の水面下の部分が大きくなるようにしておきましょう。生活の中と授業の学習を地道に繰り返すことにより、豊かで確かな学力が身につけていきます。



皆さんの“学習”の基本となるのは、やはり日々の学校での「授業」と「家庭学習」です。授業においては、新しいことを学んだり、新たな発見や気づきがあったり、問題が解けたりすれば、学習することが楽しくなります。逆に言えば、学年が上がるにつれ、分からないことが多くなってくれば、学習に対する意欲が低くなり、授業がしんどくなってくるかもしれません。

先生たちは、児童・生徒の皆さんの学習意欲が高まるような授業づくりを、日々精進して考えています。さらに、皆さんが学習を計画的に、またポイントをついてスムーズにできるようになるためにと、この『学習の手引き』を関係する小中学校の先生たちと地域の方々（学校運営協議会）などの多くの方々が携わり、全国の先進的に作成された市町村はじめ、数多くの学校の同様の冊子を参考に、児童・生徒の皆さんが将来の日本を背負っていく人材に成長してくれることを期待し、幾度かの会議・相談を重ね、加筆・追記して作成しています。

『学習の手引き』には、『学び』の基本「学校での授業」「家庭学習(自学自習)」等について、それぞれ簡潔にまとめられています。『学習の手引き』を参考にして、自分に最適な学習方法を確立し、10年先、20年先、はたまたはるか先の将来を見通した学習が自分の力でできるように成長してください。

小学校 編



「学び」の基本

準備

担任の先生や授業担当の先生からの指示が必ずあります。

(1) 授業の持ち物 ◆毎日の学校の授業に必要な持ち物です。忘れずに準備しましょう。

【筆箱の中】		
<input type="checkbox"/> けずった鉛筆5～6本（鉛筆は毎日家で削ります。）	<input type="checkbox"/> 消しゴム	
<input type="checkbox"/> 定規（1つ）（2年生以上）	<input type="checkbox"/> 名前ペン（1本）	
<input type="checkbox"/> 赤鉛筆（赤青鉛筆でも可） （青鉛筆が必要とする場合もあります）		
【その他】		
<input type="checkbox"/> 下敷き	<input type="checkbox"/> 国語辞典（3年生以上） （※意図的に使用する機会を設けるようにする。）	
【道具箱(袋)の中】		
<input type="checkbox"/> のり	<input type="checkbox"/> はさみ	<input type="checkbox"/> 色鉛筆（12色程度）
<input type="checkbox"/> クレパス（1～4年生）	<input type="checkbox"/> セロハンテープ	<input type="checkbox"/> 三角定規（2年生以上）
<input type="checkbox"/> コンパス（3年生以上）	<input type="checkbox"/> 分度器（4年生以上）	<input type="checkbox"/> 学年別に必要なもの

(2) 授業の準備 ◆授業では、机の上に4点セットを準備しましょう。

<input type="checkbox"/> 教科書	<input type="checkbox"/> ノート	<input type="checkbox"/> 下敷き	<input type="checkbox"/> 筆箱
<input type="checkbox"/> (必要に応じて)タブレットPC			

約束

◆学習の基本として、次の約束を守って学習しましょう。

(1) 授業の始まりと終わり

- 授業の開始時刻には席に着く。（※チャイムと同時に授業開始です。）
- 始まりと終わりにあいさつをする。
- 授業が終わったら、片付けをして次の学習の準備をする。
- 休み時間に、トイレ・水分補給を済ませる。
- 席を離れるときは、イスを入れる。

(2) 授業中

- 正しい姿勢で学習をしましょう。（背中を伸ばし、足をしっかり床につける。）
- 名前を呼ばれたら、返事は、はっきり「はい」。
- 手をまっすぐ伸ばして挙手をする。
- 鉛筆を正しく持って、文字を書く。
- 机の上には、学習に必要なものだけを出し、整頓して置く。

(3) 話の聴き方

※「目」と「耳」と「心」でしっかり相手の話を受け止める。身に付けましょう。

- ・「目」話す人の方を向いて聴く。
- ・「耳」最後まで聴く。
- ・「心」「なるほど」と思ったり、自分と同じ考えだったりした時は、うなずきながら聴く。

自分の考えとくらべながら聴くと、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。

□「聴くときのめあて」を意識しましょう。

1・2年生 聴くときのめあて	3～6年生 聴くときのめあて
<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 相手の目を見て ㊧ 一生けんめい ㊨ うなずきながら ㊩ えがおで ㊪ 終わりまで聴こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話す人の顔を見て ○ 話す人を応援する気持ちで、 ○ うなずきながら、 ○ 自分の意見をもって聴こう

(4) 話し方(伝え方)

※自分の考えを伝えることで、学習内容の理解が深まります。

- ・みんなに聞こえる大きさの声で話す。
- ・きちんと立って話す。
- ・みんなの方を向いて話す。
- ・最後まで話す。

□「話すときのめあて」を意識しましょう。

1・2年生 話すときのめあて	3～6年生 話すときのめあて
<ul style="list-style-type: none"> ㊫ かおを上げて ㊬ 聞こえる声で ㊭ くわしく ㊮ けっしていそがず相手を見て ㊯ 言葉づかいに気をつけて話そう (です・ます) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝えたい相手を見て、 ○ 一番遠くにいる人に聞こえる声で ○ 正確に伝わるように、 ○ 心をこめて、話そう。

□声の大きさは、「声のものさし」を意識しましょう。



(5) ノートの使い方

□ノートのサイズ、マス目の大きさは、学校側で指定したり、アドバイスしたりする場合があります。

- 下敷きを使います。
- 行間をとり、濃く、読みやすい大きさの文字を書きましょう。
- 直線を引く時は、定規を使いましょう。
- 課題(めあて)が分かるように、囲んだり、色を変えたりしておきましょう。
- 授業のふり返りを書きましょう。

- (授業者の指示があれば)日付と曜日を書きましょう。
- まとめが分かるように、囲んだり、色を変えたりしておきましょう。
- 答え合わせは、授業者の指示に従って(赤鉛筆などで)直しましょう。

(6) 整理整頓

- 席を離れる時は、イスを入れましょう。
- 机やロッカーの中を整理しましょう。
- 特別に指示がない場合以外は、教科書やノートを机の中に置いたまま帰りません。

授業最重視！《大切にしたい5つのポイント》

毎時間の授業を大切にすることが確かな学力の定着への近道です。授業がよくわかるようになると、学校生活はとても楽しいものになります。また、授業を大切にしている児童・生徒は必ず成績が伸びていきます。それは近い将来、進路の選択の幅を広げることにもつながります。そこで、毎時間の授業で、大切にしてほしい5つのポイントを明記するので心がけましょう。

① 準備物を忘れない。提出物をきちんと出す。

教科書やノート、資料集等、授業に必要なものは休憩時間に整えておきましょう。やる気があっても、道具がなければ満足な学習効果は得られません。まずは、授業が始まるまでに、道具と気持ちの両方の準備をしましょう。

宿題等の提出物に地道に取り組むことで反復学習ができ、粘り強い姿勢が育ちます。提出日を守ることは、世の中では当たり前・当然のことです。社会に出る前に、小中学校時代からできるようになっておきましょう。

② チャイムで学習を始める。

“時間を守る”ことは、生活においての基本です。学校生活において、さらなるポイントは「始まるの時間」にあります。授業はもちろん、掃除や朝の読書・学習等についても、例外ではありません。スタートがいい加減になると授業等そのものにメリハリがなくなり、効果も半減してしまいます。チャイムと同時に、気持ちをすぐに切り換え、学習を始められるようすべての準備を整えておきましょう。

③ 「なぜ？」「どうして？」を大切にする。

疑問を持つことは大切なことです。疑問が生まれるからこそ、学びが生まれます。常に、「なぜ？」、「どうして？」といったことを考えましょう。しかし、考えることで止まっていてはダメです。次のステップは、疑問が生まれたら、どのようにしたら答えが見つかるのかを、自分から進んで探しましょう。

人は答えを得た時ではなく、
疑問を持った時に成長する。

外夫 悦郎（彫刻家）

今、答えはそこら中にあるけれど、探すためのエネルギー、きっかけは自分のうちから出てきてこそ、成長につながるということである。

④ 発表・活動に積極的に参加する。

一斉や個人、ペア、グループ等のいろいろな形態で授業が実施されます。集中して取り組むことはもちろんですが、なかまと意見を交わしたり、自分から進んで取り組んだりすることで、新たな気づきやより深い学習につながります。そうすることで、学習活動を振り返り次につなげる「主体的な学び」、考えを広げ深める「対話的な学び」、情報を精査して考えを形成する「深い学び」も実現できます。

Tell me and I forget

（言われたことは、忘れる。）

Teach me and remember

（教わったことは、覚える。）

Involve me and learn

（参加したことは、学ぶ。）

ベンジャミン フランクリン（政治家 物理学者）

⑤ ノートを工夫する。

わかったつもりでいても、時間が経つと忘れてしまうことがたくさんあります。復習するときの参考にするためにも、授業内容をノートにしっかりと書いておきましょう。黒板に書かれていないことでも、先生やなかまの授業中のひと言には大事な内容が含まれているので、聞き逃さず書き留めておきましょう。自分で調べた内容などを書き込んだり、別のノートにまとめ直したり、自分なりの参考書（ノート）を作りましょう。

小学校1・2年生

育ちや学びの特徴

- いろいろなことに興味・関心をもち、何でも知りたがりです。さまざまな体験を通じて感受性が豊かになります。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「自分のことは自分です」などの基本的な生活習慣を身につけることが、学習習慣の確立につながります。
- 一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね!」「よくできたね!」まわりのほめ言葉が、子どもの意欲を生み出します。

(学校での)学習内容の特色

- 「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習準備をする」「整理整頓をする」といった、基本的な学習習慣を確立しましょう。
- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 45分間の教科ごとの授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- GIGA 端末を使いはじめます。絵や文字をかいたり、写真を撮ったり、簡単な入力を行ったりします。

学校での授業

【国語科】	・1年生では平仮名や片仮名・80字の漢字を、2年生では160字の漢字を学習します。 ・短い説明文や物語を読んだり、助詞や句読点などの決まりを守って文章を書いたり、お話を作ったりします。
【算数科】	・1年生では、1から10まで、最終的には100を少し超える数まで学習します。たし算ひき算、図形、時計の読み方、大きさや長さ、かさなどを比べる学習をします。 ・2年生では、1年生の学習がさらに発展したものや、ひっ算・かけ算・分数・表やグラフなど新たな学習内容が始まります。
【生活科】	・学校の中や自分が住んでいる町に興味関心をもち、生き物や植物を大切に、季節を感じるなど、3年生で学習する社会科や理科につながるような学習をします。
【音楽科】	・自分の歌声に気をつけて歌ったり、鍵盤ハーモニカや打楽器を演奏したりします。 ・曲や演奏の楽しさを見つけて曲全体を味わって音楽を聴くことや、音楽づくりなどにも取り組みます。
【図工科】	・粘土・色鉛筆・クレパス・絵具などの身近な材料や道具を使って、絵を描いたり工作したりします。 ・作品を見て楽しむ活動を通して、自分や友達の作品について良いところや好きなところを見つけ出します。
【体育科】	・様々な動きを、運動遊びを通して楽しみながら身につけます。マットや鉄棒・跳び箱を使った器械運動や、ボールゲーム・なわとび・鬼遊びやかけっこなどの走る運動、リズム遊び、水に親しみながら水の中で浮いたりもぐったりする運動に取り組みます。
【道徳】	・自分のこと、友達やお世話になっている人との関わり、みんなと気持ちよく暮らすこと、命や自然の素晴らしさについてみんなと話し合い、よりよく生きるにはどうすればよいか自分なりの考えを持つ学習をします。

小学校3・4年生

育ちや学びの特徴

- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- 自立心が芽生え、目標に向かって計画を立て、自分で挑戦するようになります。
- まわりの人のことを考え、協調して行動します。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせ、自ら机に向かう姿勢を育てます。

(学校での)学習内容の特色

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」「外国語活動」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- GIGA 端末で文字入力や写真の編集等を行います。
- 下津町音楽会で合奏や合唱を発表します。

学校での授業

【国語科】	<ul style="list-style-type: none">・3年生で、毛筆の学習やローマ字の学習が始まります。・3年生で200字、4年生で202字の新出漢字を学習します。・国語辞典や漢字辞典の使い方を学びます。・俳句や短歌などを学習し、伝統的な言語文化に親しみます。
【算数科】	<ul style="list-style-type: none">・3年生は、大きな数(億)、かけ算の筆算、小数、分数、コンパスを使って作図を学習します。・4年生は、大きな数(兆)、角度、垂直平行、面積、割合、割り算の筆算を学習します。
【社会科】	<ul style="list-style-type: none">・3年生は、自分が暮らす町、働く人の工夫、暮らしを守るための工夫、市の移り変わりについて学びます。・4年生は、わたしたちの県、住みよい暮らしをつくる工夫、自然災害から暮らしを守る工夫、郷土の伝統・文化、先人たちについて、特色ある地域の様子を学びます。
【理科】	<ul style="list-style-type: none">・3・4年生では、季節の変化や身の回りの自然について、器具を使いながら観察・実験を、科学的な見方・考え方を身につけます。そのために、観察・実験したことから違うところや同じところを見つけられるようにしましょう。また、観察・実験する前に自分で予想を立てる力も大切です。
【音楽科】	<ul style="list-style-type: none">・3年生で、リコーダーの学習が始まります。打楽器の音を重ねたりつなげたりして音楽づくりにも取り組みます。・4年生は、打楽器の音の特徴を生かした音楽づくりに取り組みます。
【図工科】	身近な材料や場所を使って、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして造形遊びに取り組みます。形や色、材料を工夫し、描いたりや工作したりします。
【体育科】	<ul style="list-style-type: none">・3年生から健康な生活や体の発育発達についての学習が始まります。・基礎的な動きや技能を身に付けるように学習します。
【道徳】	自分のことや友達やお世話になっている人との関わりについて学習します。みんなと気持ちよく暮らすこと、命や自然の美しさ、すばらしさについても学習します。
【総合的な学習の時間】	テーマについて調べたことをまとめ、発表します。新たな課題を見つけ、さらに探求していきます。
【外国語活動】	<ul style="list-style-type: none">・アルファベットの学習が始まります。・外国語による「聞くこと」「話すこと」を通して、英語の音声や表現に慣れ親しみ、身の回りの物の言い方や会話の仕方について学びます。・外国の文化も学びます。

小学校5・6年生

育ちや学びの特徴

- 自分の役割に対して、責任を持って取り組みます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校につなげる大切な学年です。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。
- 予定を立て、見通しを持って自力で学習を進め、自分の将来の夢を思い描くようになります。

(学校での)学習内容の特色

- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習(問題解決的な学習)が多くなります。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。
- 学習内容が多くなり、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 委員会活動、キャンプ、修学旅行などの活動を通して、協調性や責任感を育てていきます。
- GIGA 端末である程度の早さで文字入力したり、自分でファイルを使って共同作業をしたり、プレゼン能力やオンラインによるコミュニケーション活動に参加する能力もついてきたりします。

学校での授業

【国語科】	・両学年ともに、約180字の新出漢字を学習します。 ・古文や漢文など、昔の言葉も学習します。 ・教科書の文章量も多くなり、黙読や音読などを通して要約することを学習します。 ・言葉(語句)や漢字の意味は、辞書や漢字ドリルを使って学習します。 ・話し合う活動を通して、たがいの考えを整理したり、文章にまとめたりします。 ・詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したり、作ったりします。 ・国語科だけでなく、他の教科の教科書も音読しながら学習を進めます。
【算数科】	・5年生では、①整数や小数・分数などの「数と計算」②割合や速さ、2つの量の変わり方などの「変化と関係」③合同な図形、図形の面積や立体の体積などの「図形」④帯グラフや円グラフを使った「グラフ」などを学習します。 ・6年生では、①分数の掛け算や割り算などの「数と計算」②比や比例、反比例などの「変化と関係」③対称な図形や拡大図・縮図などの「図形」④資料の整理などの「データの活用」などを学習します。
【社会科】	・5年生では、地図帳などを使い日本や世界について学習します。また、農業や漁業・工業等の産業について学習します。 ・6年生では、国際政治や日本の歴史について学習します。
【理科】	・観察・実験したことを記録し、考えることを通して筋道だった考え方や表現力を身につけます。そのため、見つけた問いについて、仮説を立て、解決方法を考えられるようにしましょう。また、見つけた問いを追及する中で、妥当な考えにまとめ上げる力も身につけましょう。
【音楽科】	・歌唱では、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、自然で無理のない響きのある歌い方で歌います。 ・器楽では、音色や響きに気をつけて、旋律楽器や打楽器を演奏します。 ・音楽づくりでは、全体のまとまりを意識した音楽をつくり、そのよさや面白さを見つけます。 ・鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさを見つけ、曲全体を味わって聴きます。
【図工科】	・材料や場所、空間の特徴から活動を考え、その活動に応じた材料や用具を使って、造形遊びに取り組みます。 ・自分が表したいものを見つけ、どのように表現するか考え、応じた材料や用具を使って、描いたりや工作したりします。 ・自分たちの作品、日本や外国の親しみのある作品、製品など生活の中の造形を鑑賞します。
【体育科】	・各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための知識などについて学習します。 ・自分やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見つけ、その解決のための方法や活動について学習します。
【家庭科】	衣食住の基礎・基本を学び、裁縫や調理の実習も行います。さらに、買い物の仕組みやお金の使い方などを知り、生活の中で活用できるようにしましょう。
【道徳】	・「よりよく生きるために大切なこと」をみんなで考えます。 ・考える観点は4つあります。①自分自身に関すること ②人とかかわりに関すること ③集団や社会とかかわりに関すること ④生命や自然・崇高なものとかかわりに関すること
【総合的な学習の時間】	国際社会や産業・環境など、各学校に応じたテーマについて、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、これからの自分の生き方を考えます。
【外国語】	今までの学習に加え、を慣れ親しんだ簡単な単語や英文を「読むこと」、さらに、教科書の例文を参考にして「書くこと」などの学習があります。

家庭が学びの場となるために・・・

- その1 基本的な生活習慣を身に付けましょう。
 - ・早寝早起き、朝食、朝の排便を大切にする。
- その2 家庭の学習環境を整えましょう。
 - ・決まった場所で、一定の時間、テレビを消して学習に集中する。
- その3 学習習慣の定着をめざしましょう。
 - ・宿題（基本的な学習）や自主学習の習慣を身に付ける。

【家庭学習(自学自習)10の約束事】

- ① **学習を開始する時刻を決めましょう。**

曜日によって変えるのではなく、できるかぎり「19時から」といったように、開始時刻を固定しよう！
- ② **学習する時間を決めましょう。**

「30分間～1時間」等、自分のできる範囲で幅を持たせて決めましょう。ただし、最低時間は必ずやろう！
- ③ **机や身の回りの整理整頓をしましょう。**

机の上には必要な物以外は置かないようにしましょう。学習後もすぐ整理整頓をすること！
- ④ **「ながら勉強」はせず、集中して学習しましょう。**

音楽を聴きながら、テレビを見ながら、おかしを食べながら...ではなく、短時間でも集中して取り組もう！
- ⑤ **継続して毎日取り組みましょう。**

家庭学習は習慣です。やるのが当たり前になるよう、まずは毎日続けることを目標にしよう！
- ⑥ **計画的に取り組みましょう。**

「家庭学習の手引き」を参考に、自分に合わせて何の教科をどのように予習復習するのか、計画を立てよう！
- ⑦ **就寝時刻を決めましょう。**

深夜まで起きておくことの利点は何もありません。就寝時刻を決めて、その時刻に寝る努力をしよう！
- ⑧ **睡眠時間を確保しましょう。**

翌日に疲れを持ち越さない睡眠時間が必要です。今までの自分自身の経験をもとに、自分に合った睡眠時間を決めよう！
- ⑨ **「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけましょう。**

良い生活リズムをつくるのが大原則です。毎朝、ゆとりを持って朝食を十分摂る時間を確保しよう！
- ⑩ **ファミリールールを守りましょう。**

帰宅時間や、スマートフォンやゲーム・テレビ等に関する「ファミリールール」を絶対に守ろう！

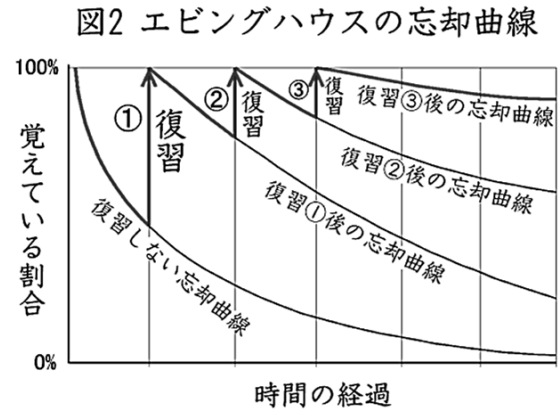
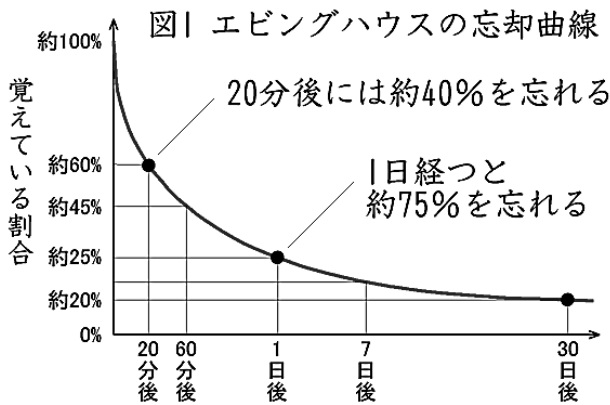
家庭学習(自学自習)のポイント、日常生活でできること

人間は忘れる生き物で、反復(繰り返し)学習することで記憶します。授業内容を深く理解し、定着させるためには、家庭学習が大きな役割を果たします。家庭の環境や生活習慣がそれぞれ異なるとは思いますが、できるかぎり毎日工夫して時間をつくり出し、自主的・自発的に家庭学習に取り組む習慣をつけましょう。

また、机に向かって学習するだけでなく、日常生活において学習することも大切です。

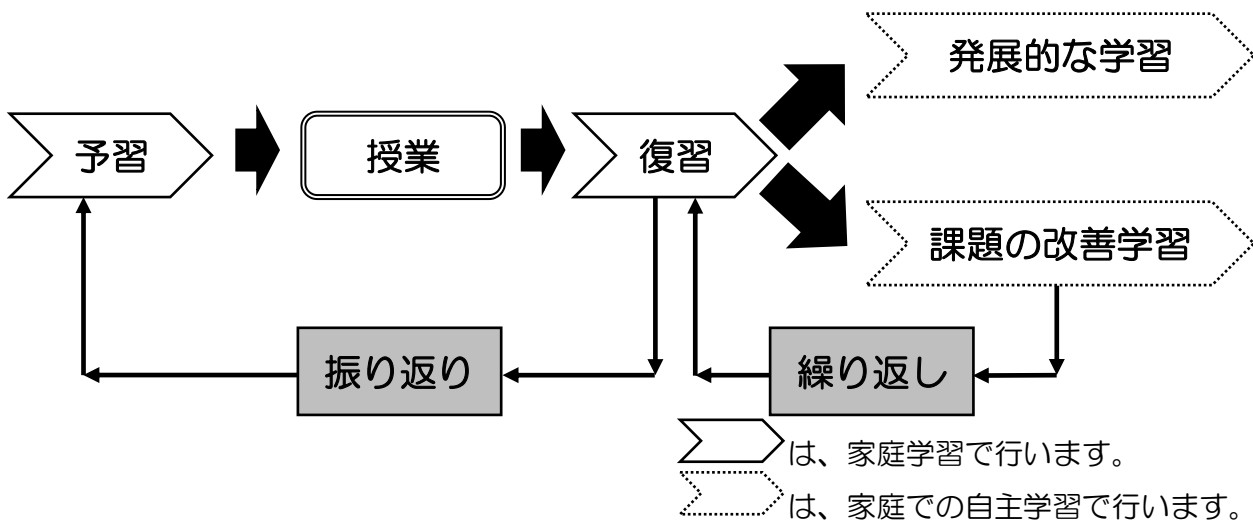
エビングハウス

1850年ドイツのバルメンで商人の家庭に生まれ、のちに記憶に関する実験を行い、忘却曲線を発見したことで有名なドイツの哲学者であり、心理学者です。また、初めて学習曲線に言及した人物で、反復学習の分散効果を発見しています。



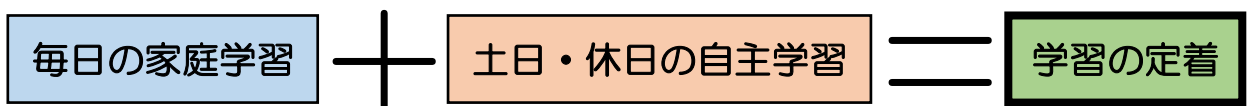
家庭学習における学習のサイクル

学習内容の定着のためには、繰り返しが大切です。次のサイクルを身につければ、基礎の定着効率が上がります。ぜひ、やってみましょう。ただし、まず宿題は必ず終わらせましょう。



このサイクルが身につけば、次に自分が学習した内容に、適切な評価をしましょう。「やったつもりで、やっていない。」ことはありませんか? 「このくらい学習したけれど、どうだろうか?」と、家族に聞いてみましょう。あるいは、「このような学習でどうでしょうか?」などと先生に聞いてみましょう。誰にも相談せず、自分だけでやったつもりで効果が上がらないときこそ改善が必要です。自分に合った学習方法を見つけるまで、改善していきましょう。

学習の「がんばり習慣」を身につけよう!



小学校1・2年生

【毎日の家庭学習時間のめやす】15～30分

- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「元気なあいさつ」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身につくと、学習の習慣も身につきます。
- 成功体験を多くもたせると共に、「やったね」「よくできたね」というまわりのたくさんの「ほめ言葉」が、すばらしい意欲を生み出します。
- 学習内容や方法は、子どもの意欲が高まるように、親子で相談しながら決めましょう。

家庭学習(自学自習)3つのポイント(保護者の方への協力のお願い)

その① 最後までやり終える!

「宿題は最後までやること」を守らせましょう。最後まで出来たかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。根負けせずに、ねばり強く働きかけることが大切です。

その② 子どもにも家族の役割分担を!

家庭で、子どもにもできる仕事を見つけてください。家族の一員としての役割を体験させることで、自分にできることを考え、行動する姿勢が育ちます。学年が上がるにつれてこうした家事の分担の範囲を広げていきましょう。

その③ 家族ぐるみでよりよい学習習慣を!

大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習習慣づくりに努めることが大切です。子どもが学習している時は、テレビ等を切って、静かで集中できる学びの環境を整えてあげたり、家庭で「読書タイム」をつくることも効果的です。また、会話を単語ではすまさないことなどを、日常生活の中で意識し、実践することがとても大切です。

～家庭学習(自学自習)を始める前に～

- ★ 学習前に、勉強する場所の整理整頓をしましょう。
- ★ 今日の宿題を一緒に確かめましょう。
- ★ 正しい姿勢で座らせましょう。

宿題 宿題をやり終えるようになれば、まず大丈夫! 家族のほめ言葉が学習意欲を生み出します。

・はじめに、宿題からやりましょう。		
【国語科】	《音読》	・楽しんで、すらすら読めるように毎日練習しましょう。 ・句読点に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。
	《漢字》	・ひらがなや漢字の書き順に気をつけて、ていねいにゆっくり書きましょう。
【算数科】	《計算》	・速さを競わずに、楽しみながら計算に慣れていきましょう。正しくできるようになれば、少しずつスピードを上げて練習しましょう。 ・間違った問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が身につくように、ときには、手順を唱えながら練習しましょう。
【生活科】		・休みの日には、山や川、動物園や植物園などに出かけ、本物の動植物にふれましょう。 ・情報誌を参考に、科学館や博物館、図書館などに出かけましょう。
【音楽科】		・鍵盤ハーモニカの練習をしましょう。
【読書】		・子どもにあった本をまわりに置きましょう。読み聞かせをするのもいいですね。

小学校3・4年生 【毎日の家庭学習時間のめやす】30～50分

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲が広がります。
- みんなで行動することを好むとともに、自己主張が少しずつ見られるようになります。

家庭学習(自学自習)3つのポイント(保護者の方への協力のお願い)

その① 宿題以外の学習にも挑戦!

宿題だけでなく予習・復習の自主的な学習にも積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていくと良いでしょう。そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも関心が持てるように働きかけましょう。例えば、科学館や博物館などを活用してもいいですね。

その② テレビやゲームは、時間を決めて!

テレビやゲームに夢中になって、遊ぶ時間がだらだらと長くなることがあります。けじめをつけさせることが、自律心や学習への集中力を育てることになります。根負けせずに、アドバイスし続けましょう。また、親のテレビを見る姿勢も大切です。

その③ ほかの子どもと比べず、「がんばり」をほめる!

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹と成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに、積極的にほめましょう。

～家庭学習(自学自習)を始める前に～

- ★ 学習前に、勉強する場所の整理整頓をしましょう。
- ★ 学校からのプリント類を親に手渡す習慣をつけさせましょう。
- ★ 今日の宿題を自分で確かめさせましょう。

宿題 学校での学習をふり返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにしましょう。

・宿題がないときには、国語や算数の復習をするなど、課題を決めて家庭学習をしましょう。		
【国語科】	《音読》	・毎日1回は声に出して読みましょう。会話文は、登場人物の気持ちを考えて読んでみるなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
	《漢字》	・漢字ドリルなどを活用して、繰り返していいいに練習しましょう。 ・正しい筆順で「はね、はらい、とめ」に気をつけて書きましょう。 ・国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるために、手もとに置き、常に使用しましょう。
【算数科】		・計算手順が正しく身につくよう、毎日少しでも計算をしましょう。 ・筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。 ・三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように繰り返し練習しましょう。
【社会科】【理科】		・地図帳、グラフ、表などを日頃から見るようにしましょう。 ・自然現象、科学現象にふれた本や動画(テレビ等)に親しんでおきましょう。 ・科学館や博物館、図書館などに出かけ、体験活動にも参加しましょう。
【音楽科】		・リコーダーで習った曲の練習をしましょう。
【読書】		・いろいろな種類の本を選んで読みましょう。家庭で「読書タイム」をつくり、家族全員で本に親しみましょう。家の人に、読んだ本の感想を話してみよう。
・興味をもったことや「なぜだろう。」「どうしてだろう。」と疑問に思ったことは、辞書や図鑑、インターネットなどを使って自分で調べたり、家族に相談したりしましょう。		

小学校5・6年生 【毎日の家庭学習時間のめやす150～70分】

- 夜更かし、テレビやゲーム漬けでは学習に集中できません。
- 得意な科目、好きな分野が見つかり勉強好きになるきっかけにもなります。
- 競争心も芽生える時期です。良い友人関係の中で自分を高めていきましょう。

家庭学習(自学自習)3つのポイント(保護者の方への協力のお願い)

その① 予定を立て、計画的な学習を！

その日の予定を立て、見通しをもって学習しましょう。必ず学習する時間帯の設定をしましょう。

その② 今一度、基本的な生活習慣の見直しを！

「早寝早起き、夜更かしをしない」「テレビやゲームの時間を決める」など、中学校生活に向けて、今一度生活習慣を見直しましょう。

その③ 「急がば回れ」の気持ちで！

問題に取り組んでいて分からない時は、分かるところまで戻ってやり直すとともに、間違ったところは必ず見直すことが大切です。先生に相談することもよいでしょう。

～家庭学習(自学自習)を始める前に～

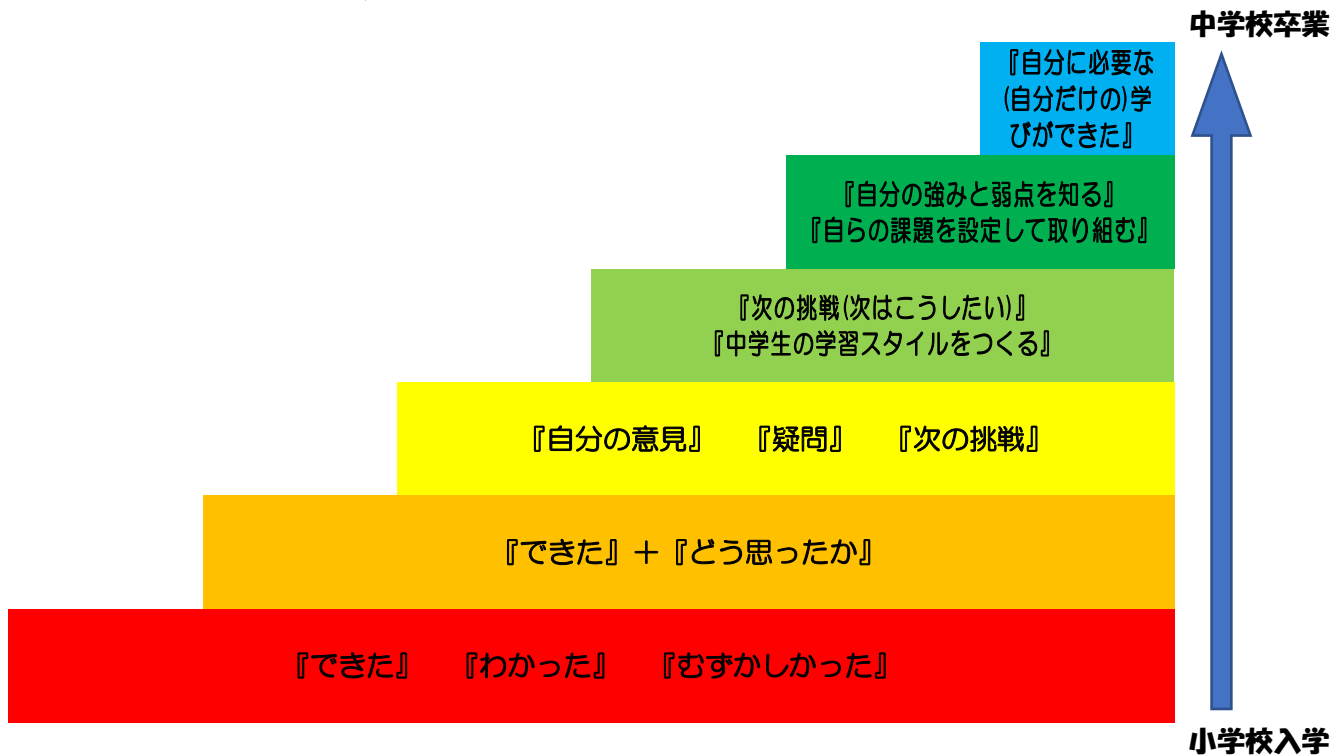
- ★ 学習前に、勉強する場所の整理整頓をしましょう。
- ★ 学校からのプリント類を親に手渡す習慣をつけましょう。
- ★ 宿題を自分で確かめ、やる順番を決めましょう。
- ★ 調べ学習等には、GIGA 端末も活用しましょう。

宿題 学校での学習をふり返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにしましょう。

<ul style="list-style-type: none"> ・わからないところは教科書やノートなどを見ながら、あきらめずに取り組みましょう。 ・宿題がない時は、苦手な勉強の復習や明日の学習を確かめるような予習をしましょう。 	
【国語科】	≪音読≫ <ul style="list-style-type: none"> ・間を取りながら読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。 ・他の教科の教科書も音読しましょう。重要な用語や内容の理解が深まります。
	≪漢字≫ <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。 ・習った漢字を使って、熟語や短文を作りましょう。
【算数科】	<ul style="list-style-type: none"> ・よく間違える計算は、手順や仕組みを確かめながら繰り返し練習しましょう。 ・答えの確かめを、自分でできるようになりましょう。
【社会科】【理科】	<ul style="list-style-type: none"> ・地図、グラフ、表などを日頃から見るようにしましょう。 ・出てきた語句や用語については、正しく理解するようにしましょう。 ・歴史上の人物や出来事にふれた本や動画(テレビ等)、ウェブサイトに関心しておきましょう。 ・自然現象やその仕組みに興味をもち、科学を身近に体験しましょう。 ・情報誌を参考に、科学館や博物館、図書館などに出かけ、体験活動にも参加しましょう。
【読書】	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文、物語、詩、作文、古典など多くの作品に親しみましょう。 ・家族や友人と読んだ本の感想を語り合い、いろいろな感じ方、考え方にふれましょう。
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事やテレビニュースなどを家族で話題にして、社会に目を向けましょう。 ・家族の一員としての役割をもち、それをしっかりと果たしましょう。 ・興味をもったことや「なぜだろう。」「どうしてだろう。」と疑問に思ったことは、辞書や図鑑、インターネットなどを使って自分で調べたり、家族に相談したりしましょう。 	

小中学校9年間を通した学びのステップ

子どもの発達段階によって、望ましい学びのあり方が異なります。子どもの成長に合わせた学びのステップについて、例を示しています。



GIGA スクール『タブレットコンピュータ(PC)』について

- GIGA スクール PC は、「GIGA スクール構想の推進」として2019年(令和元年)に開始されたもので、文部科学省が経費を負担し、**学習用**として全国の小中高等学校の児童・生徒用に各都道府県・市町村教育委員会が購入・貸与するようになったものです。
- 文部科学省の方針を受け、GIGA スクール PC を海南市教育委員会が購入し、海南市の公立小中学校に在籍している児童・生徒に、**学習用**として貸与してくれています。貸与されたものなので取り扱いには十分気をつけながら、積極的に使いましょう。
破損したり、紛失したり、故障したりしたと思ったら、すぐに学校に申し出ましょう。また、故意に物理的破損させたりした場合は、弁償となる場合もあります。
- 学習用の PC となりますので、学習用のみに使用し、個人で勝手に設定変更やアプリのインストールはしないでください。自分の趣味等で使用したり、インストールされていないアプリを勝手にインストールしたりする場合は、家族と相談し家庭用 PC 等を使いましょう。学習以外で使用した場合は、貸与ができなくなる場合もあるかもしれません。
- 学校での使用は、担任や授業担当者の指示に従って使用する。
- 休日等、学校から家庭に持ち帰って学習用として使用する場合は、必ず担任の先生に自ら申し出てから持ち帰るようにしましょう。平日は、学校の授業で使用することが多々あるので、必ず学校に持ってきてきましょう。
- 海南市教育委員会が契約してくれている『eライブラリ』は、自学自習(復習・予習)用として、自ら取り組み、学校だけではなく家庭でも学習を進めてください。



中学校入学までに期待すること！（中学校の各教科の先生方より）

- ・授業の準備物を自分で忘れずに、準備することができる！
- ・人の話をきちんと最後まで聞いて、内容を理解することができる！
- ・自分の意見を自分の言葉でしっかりと伝え、人前で堂々と発表することができる！
- ・提出物が、期日までに遅れずに出すことができる！
- ・家庭での学習が、1人でもきちんとできる習慣が身についている！
- ・小学校の学習内容を十分に知識として習得・理解できている！（中学校での学習は、小学校の学習の土台の上に積み上げていきます。土台をしっかりと！）

【国語科】

- ☆文章の読み取り、話す・書くなどの表現、漢字や文法などの言語事項を学習します。
- ◎原稿用紙の使い方を理解しておきましょう。
- ◎小学校で学習する漢字の読み書きを覚え、正しい書き順で書けるようにしましょう。
- ◎自分の考えを表現(書いたり、話したり)できるようにしましょう。

【社会科】

- ☆地理・歴史・公民の3つの分野に分けて、より専門的に社会科を学習します。
- ◎表やグラフ等の資料から、重要な情報を読み取れるようにしましょう。
- ◎重要語句を暗記するだけでなく、歴史的事象の流れを大まかに説明できるようにしましょう。
- ◎「なぜ？」という疑問に対して、様々な角度から考えられるようにしましょう。

【数学科】

- ☆数と式・図形・関数・資料の活用の4つの分野を3年間でスパイラル的に学習します。
- ◎素早く正確に四則計算をできるようにしておきましょう。
- ◎図形の特徴を理解し、面積や体積の計算をできるようになっておきましょう。
- ◎文章から数量関係を読み取れるようになっておきましょう。
- ◎基本的な資料の読み取り方を身につけておきましょう。

【理科】

- ☆自然を対象とする学問で、自然の謎を科学的に解明しながら、理科的な力を身につけていきます。
- ◎小学校で学習した内容を理解しておきましょう。
- ◎自然現象に関する「なぜ?」「どうして?」という興味、関心を大切にしましょう。
- ◎実験・観察・実習等に積極的に参加する姿勢を忘れないでください。
- ◎小数・分数の計算ができるようにしましょう。

【音楽科】

- ☆歌唱・器楽・鑑賞の3つの分野を3年間で学習します。
- ◎歌唱では、正しい発声の習得を目指し、混声合唱中心に学習します。様々な歌に親しみ、恥ずかしがらず、大きな声で歌えるようになりましょう。
- ◎器楽ではギターの単音弾き、コード弾きを学習します。苦手なことでも頑張ろうとする姿勢を忘れないでください。

【美術科】

- ☆「表現」「鑑賞」の多様な活動を通して、より専門的に学習します。
- ◎身の回りのものや風景などに目を止め、形や色彩などを意識して見ましょう。
- ◎試行錯誤を重ね、作品を制作しましょう。
- ◎他の人の表現を学びましょう。
- ◎見たり、感じ取ったり、考えたりして、さまざまな表現を知りましょう。

【保健体育科】

- (体育分野) ☆より競技性に近づいた運動技能の習得を目指します。
- (保健分野) ☆健康に関する内容、生活習慣に関する内容、環境に関する内容を学習します。
- ◎投げる、跳ぶ、走るなどの基本的な運動技能を身につけましょう。
- ◎球技での基本的な技や技の名称を理解しましょう。
- ◎簡単なリズム運動やダンスに親しみをもちましょう。

【技術家庭科】

- (技術分野) ☆「材料と加工」「生物育成」「エネルギー変換」「情報」の4分野を3年間で学習します。
- ◎科学的・理科的な学習内容に興味を持ちましょう。
- ◎プログラミングをとおして、プログラミング的思考力を身につけましょう。
- (家庭分野) ☆「衣食住」「家族・地域」「消費・環境」について、小学校の学習内容をさらに詳しく学習します。
- ◎実習を取り入れた学習を通して、自分の家庭生活につなげられることを目指しましょう。

【英語科】

- ☆英語を通して、外国の言葉や文化を知り、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4つのスキルをバランス良く身につけていきます。
- ◎身の回りには英語であふれています。英語の歌、映画、アニメなどたくさん英語に触れましょう。
- ◎アルファベットを正しく読み書きできるようにしましょう。(できれば大文字・小文字どちらも！)
- ◎簡単な英単語やフレーズを学びながら、英語に親しみましょう。
- ◎英語を話すときには、ミスを恐れずに、自分の思いを相手に伝えようとする姿勢を大切にしてください。

・PCを使用している文書作成ソフト(ローマ字入力)、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本的な操作については小学校の授業等では学習しませんが、中学校入学までに身につけているスキル(和歌山県教育委員会より)となっています。タブレットPCには同等のアプリがインストール済みで、いつでも使用可です。

中学校編

「中学校編」は、

- 令和8年度作成計画
- 令和9年度追記として発行予定

